

GPA(Grade Point Average)制度

GPAは学生の到達度評価方法の一種です。授業科目ごとの成績を5段階で評価し、それぞれの評価に対して与える4, 3, 2, 1, 0のGPを付与してその平均を計算したものです。

GPA制度は、学生の成績評価をより明確にすることにより、授業に対する学生の意識を高め、学期ごとに学生の学修および学修指導に役立てることを目的とします。またGPAは、国際的に使用されている学力指標であり、留学時などにも使えます。

成績評価と付与されるGP

点数	GP	成績評価	区分	評価基準
90点以上	4	S	合格	特に優れた成績
80~89点	3	A		優れた成績
70~79点	2	B		妥当と認められる成績
60~69点	1	C		合格と認められる最低限の成績
60点未満	0	D	不合格	合格と認められない成績
		N	本学で単位認定した科目(GPAの対象としない)	

- ① 試験欠席者について、評価はDとして履修総単位数に含まれます。
- ② 欠席数過多の理由で受験資格がない場合、評価はDとし、履修総単位数に含まれます。
- ③ 不合格となった授業科目を再履修した場合、当該科目について過去に得た不合格評価はGPA算出対象となり、履修総単位数に加算されます。

GPAの計算式

$$\text{GPA} = \frac{(\text{Sの単位数} \times 4) + (\text{Aの単位数} \times 3) + (\text{Bの単位数} \times 2) + (\text{Cの単位数} \times 1) + (\text{Dの単位数} \times 0)}{\text{当該学期(年度)の履修総単位数(不合格科目を含む)}}$$

GPA対象科目

GPAはすべての授業科目を対象とします。ただし、次の科目は適用外とします。

- ① 認定科目(他大学等で修得した科目を本学の単位として認定した科目および他大学等との単位互換等で修得した単位)
- ② 本学入学前に修得した単位認定科目(本学の単位として認定した科目)